

至誠館大学

科目名	基礎技能(造形表現Ⅰ)			コード	1265		
英語表記							
担当教員名	石川 正一			年度	平成28年度		
基準年次	1年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態		授業形式	演習	履修形態	選択		
授業概要							
<p>保育のに必要な造形の知識や技能を習得させる。また、活動過程をとおして、造形活動の意義を理解させる。さらに、必要な材料や道具などに関する基本的な知識や技術を習得させる。</p>							
到達目標							
<p>幼児期の造形活動の中で使われる様々な造形技法について知るとともに、適切な用具の使い方を身につける。また、それらの技法を使って、自らの造形表現の能力を高める。</p>							
授業計画							
第1回	オリエンテーション						
第2回	造形技法の理解と製作Ⅰ 水彩画を描く						
第3回	" マーブリングとデカルコマニー						
第4回	" スタンピングとスチレン版画						
第5回	" フィンガーペインティングとたらし絵						
第6回	" コラージュ デザイン箱を作る						
第7回	" フロッタージュとスクラッチ						
第8回	" 墨絵を描く						
第9回	" 粘土で作る						
第10回	" コンテで描く						
第11回	" 草笛や竹笛を作る						
第12回	" 竹とんぼを作る						
第13回	" 鉛筆デッサンをする						
第14回	作品展を行う						
第15回	まとめ						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
<p>出席、授業態度、提出物により評価を行います。提出物は授業での製作物12点につき5点満点で評価します。また、授業外学習でのクロッキー帳について1回1点とします。</p>			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			0	20	0	0	80
授業外学習			テキスト、教材				
<p>毎回、クロッキー帳に水彩で色面構成の練習をおこなう。授業の前に提出する。</p>			資料を配付する				
参考書			受講生へのメッセージ				
<p>随時紹介する。</p>			造形することの楽しさを味わいましょう。				
キーワード							
造形表現、技法、作る、材料、用具							